

令和6年度 当初予算案等の概要

重要施策・当初予算案総括表	1 頁
災害に強いまちづくりの取組み	3 頁
特色ある事業：都市の成長	5 頁
特色ある事業：生活の質の向上	7 頁
特色ある事業：脱炭素社会への貢献	11 頁
特色ある事業：DXの推進	12 頁
特色ある事業：プロモーションの強化	13 頁
特色ある事業：道路・下水道分野の計画策定	13 頁
組織編成案	14 頁
主な新規着手・整備完了予定箇所	15 頁



道路下水道局

令和6年度 道路下水道局 重要施策

道路下水道局 当初予算案 総括表

区分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	前年度比較 (A-B)	対前年比 (A/B)
一般会計	530億 391万円	510億 525万円	19億9,866万円	103.9%
道路・街路	281億2,704万円	268億7,976万円	12億4,728万円	104.6%
河川	45億1,426万円	38億4,673万円	6億6,753万円	117.4%
下水道事業 負担金等	203億6,261万円	202億7,876万円	8,385万円	100.4%
下水道事業会計	1,154億2,151万円	1,169億9,671万円	△15億7,520万円	98.7%

※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。



道路・街路整備

令和6年度

令和5年度

対前年比

【道路整備アクションプラン2024 (R3~R6)、福岡市自転車活用推進計画 (R3~R6) に基づき事業を実施】

○ 幹線道路整備 ・都市計画道路の整備、無電柱化の推進 等	21億1,449万円	(15億3,389万円)	137.9%
○ 生活道路等整備 ・市民生活に密着した道路拡幅や側溝整備 ・海辺を活かした観光振興に向けた道づくり ・博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～ ・Fitness Cityプロジェクトの推進 等	38億9,911万円	(34億1,583万円)	114.1%
○ 交通安全施設整備 ・通学路等の安全対策、道路のバリアフリー化、無電柱化、 自転車通行空間整備、駐輪場整備、直営灯LED化、ゾーン30プラス 等	57億4,930万円	(52億9,272万円)	108.6%
○ 連続立体交差事業 ・西鉄天神大牟田線 (雑餉隈駅付近)	8億4,062万円	(24億8,218万円)	33.9%
○ 直轄工事費負担金 ・国道3号 等	6億8,900万円	(6億8,900万円)	100.0%
○ 道路施設のアセットマネジメント ・道路や橋梁等のアセットマネジメント	44億1,481万円	(36億7,952万円)	120.0%
○ その他 ・福岡北九州高速道路公社への出資金・貸付金 等	24億7,753万円	(24億2,542万円)	102.1%

第9次 福岡市基本計画

生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す

道路下水道局 運営方針

市民の安全・安心を守り 都市の魅力に磨きをかける



河川整備

令和6年度 令和5年度 対前年比

○ 治水対策	24億4,139万円	(21億 345万円)	116.1%
・都市基盤河川及び準用河川の改修 等 (周船寺川、金屑川、香椎川 等)			
○ 局地的豪雨対策	2,500万円	(1,020万円)	245.1%
・護岸の改良や河床の洗掘防止 等 (大谷川)			
○ 環境整備	3億1,400万円	(1億3,000万円)	241.5%
・水辺空間を活用したうるおいや親しみのある整備 (弁天川)			
○ 河川施設のアセットマネジメント	10億3,523万円	(9億2,018万円)	112.5%
・排水機場などのアセットマネジメント (上牟田川排水機場 等)			



下水道整備

令和6年度 令和5年度 対前年比

【下水道経営計画2024 (R3~R6) に基づき事業を実施】

○ 浸水対策	54億9,020万円	(48億7,904万円)	112.5%
・雨水管の整備 等 (中部13号幹線、中部15号幹線 等)			
○ 地震対策	18億7,494万円	(35億 170万円)	53.5%
・下水管の耐震化 等 (月隈第8雨水幹線 等)			
○ 未整備区域の解消	26億4,170万円	(25億2,484万円)	104.6%
・下水管の整備 等 (みなと香椎 等)			
○ 合流式下水道の改善	3億3,900万円	(7億2,529万円)	46.7%
・浸水対策と連携した浸透側溝整備 等 (天神周辺地区)			
○ 再生水利用	4億9,200万円	(3億 200万円)	162.9%
・再生処理施設の整備 等 (中部水処理センター 等)			
○ 下水道施設のアセットマネジメント	159億5,117万円	(142億5,414万円)	111.9%
・下水管や水処理センター等のアセットマネジメント (梅光園ポンプ場、西部水処理センター 等)			

災害に強いまちづくりの取組み

近年、**大規模な地震被害や豪雨による浸水被害**が発生しており、**より一層の防災力の強化**が求められております。道路下水道局においても、引き続き災害に強いまちづくりに取り組めます。

1.地震対策

災害に強い道づくり

【予算 21億1,449万円】 **P5-1参照**
(道路計画課)

■ 幹線道路の整備

・災害時に円滑な人命救助や物資輸送路を確保するため、都市計画道路などの幹線道路ネットワークの形成に向けた整備に取り組めます。

【予算 18億2,352万円】 **P7-8参照**
(道路利活用推進課)

■ 無電柱化の推進

・「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、災害時の避難や救助、物資供給等を行う緊急車両の通行を確保すべき路線とされている緊急輸送道路などにおいて、無電柱化を推進します。

【予算 3億1,492万円】 **P9-16参照**
(道路維持課)

■ 道路橋の耐震化

・「福岡市橋梁耐震補強計画」に基づき、緊急輸送道路に架かる橋梁及び跨線橋・跨道橋について耐震補強を実施します。

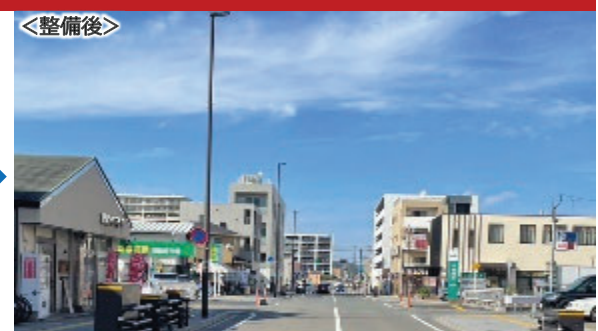
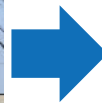
都市計画道路の整備【博多箱崎線】



道路橋の耐震化



無電柱化の推進【大原周船寺停車場線】



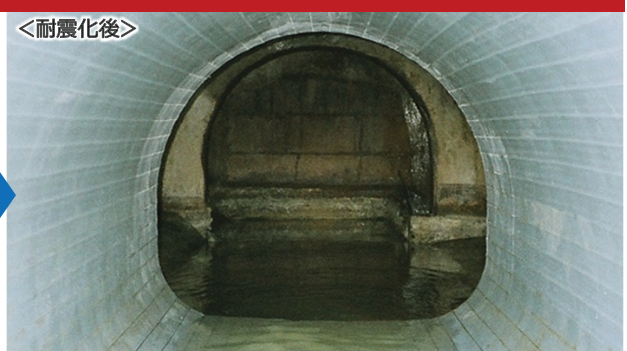
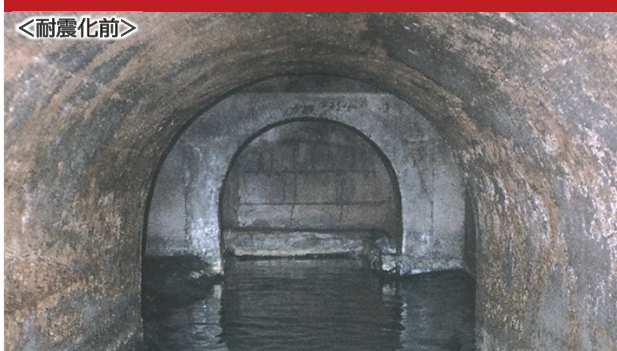
災害に強い下水道

【予算 18億7,494万円】
(下水道企画課)

■ 下水道の耐震化

・緊急輸送道路直下の重要な幹線管渠やポンプ場・水処理センターなどの耐震化に取り組めます。

下水道施設の耐震化【幹線管渠】



2. 浸水対策

災害に強い河川・下水道

【予算 29億8,084万円】 **P9-14参照**
(河川計画課)

治水対策の推進

・大雨による河川の氾濫を防ぐため、河川改修や治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

【予算 54億9,020万円】 **P6-6 参照**
P9-15参照
(下水道企画課)

浸水対策の推進

・激甚化・頻発化する豪雨に対応するため、「雨水整備Doプラン2026」や「雨水整備レインボープラン天神」などに基づき、浸水対策に取り組みます。

治水対策の推進【周船寺川】



浸水対策の推進【中部9号幹線】



3. ソフト対策

【予算 4,367万円】 **P9-14参照**
(河川計画課)

普通河川における洪水浸水想定区域図の作成

・普通河川における水害リスク情報の周知を図るため、洪水浸水想定区域図を作成します。

【予算 1,230万円】
(下水道企画課)

災害を想定した訓練の実施（下水道BCP）

・災害時でも下水道が果たすべき役割を実施・継続し、早期復旧に取り組めるよう、訓練の実施や下水道BCP（業務継続計画）のブラッシュアップを行うなど、災害に強い下水道を目指します。

訓練の実施状況



(参考) 能登半島地震の支援状況



特色ある事業：都市の成長

1 幹線道路の整備



人・物の広域交流連携を支える放射環状型の道路ネットワークの形成を図るため、都市計画道路などの幹線道路の整備に取り組みます。

予算 21億1,449万円
(道路計画課)

<令和6年度主な予定箇所>

- ・(都)長尾橋本線 (継続)
- ・(都)国道3号線 (継続)
- ・(都)粕屋久山線 (継続)
- ・(都)野間屋形原線 (継続)
- ・市道地行鳥飼七隈線 (継続)

幹線道路の整備事例 (築港石城町線)



2 都心部の機能強化と魅力づくり



都心部である天神地区、博多駅周辺地区におけるまちづくりと連携し、それぞれの地区の特性に応じた道路空間の整備に取り組みます。

天神通線の整備

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって(都)天神通線の整備に取り組みます。



予算 7,000万円
(道路計画課)

天神ビッグバンポータスの隔地駐車場運営開始

天神中心部への流入抑制を図るため、ポータレス福岡第一立体駐車場を活用し、天神ビッグバンポータスの隔地駐車場の運営を開始します。

(令和6年12月運営開始予定)



予算 3,300万円
(駐車場施設課)

<令和6年度主な事業内容>

隔地駐車場関連設備の改修 (新規)

博多旧市街プロジェクト ~歴史・文化に配慮した道づくり~

博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高めていくプロジェクトに取り組んでいます。

歴史資源や名所をつなぎ、趣のある道路として再整備に取り組みます。

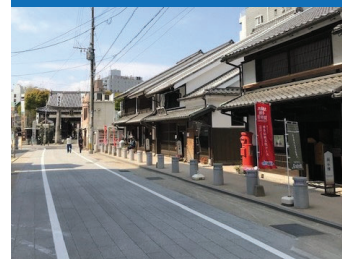
<令和6年度主な予定箇所>

- ・市道店屋町318号線 外 (土居通り)



予算 2億4,100万円
(道路計画課)

整備状況 (柳田表参道)



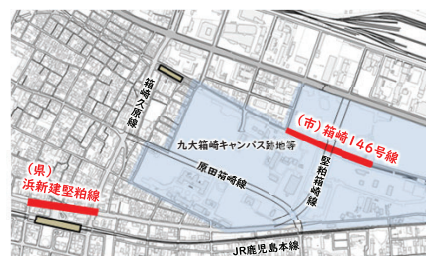
3 九州大学箱崎キャンパス跡地周辺の道路整備



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりと連携し、最寄鉄道駅 (JR箱崎駅、地下鉄箱崎九大前駅) からのアクセス道路等について、誰もが安心して移動できる道路空間の形成に向け、無電柱化等の整備に取り組みます。

<令和6年度主な予定箇所>

- ・県道浜新建堅粕線 (新規)
- ・市道箱崎146号線 (新規)



予算 5億8,200万円
(道路利活用推進課)



4 Fukuoka East & West Coast プロジェクト



海辺を活かした観光振興に向けた道づくり

海辺の観光周遊コースの形成に向けて、志賀島、北崎地区の美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。

- <令和6年度事業内容>
- ・志賀島：無電柱化・美装化
 - ・北崎：無電柱化・美装化



予算 4億9,300万円
(道路計画課)



5 福岡空港へのアクセス強化と空港周辺道路の渋滞緩和



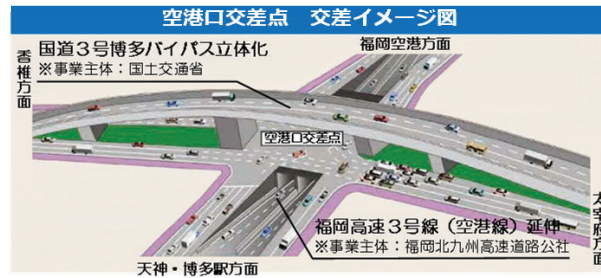
福岡高速3号線（空港線）延伸事業

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。

(事業主体：福岡北九州高速道路公社)

- <令和6年度主な事業内容>
- 用地買収・地下埋設物移設工事 等

予算 11億3,000万円
(高速道路推進課)



(関連事業)国道3号博多バイパス立体化事業

空港周辺道路の渋滞緩和を図るため、国道3号博多バイパス立体化事業を促進します。

(事業主体：国土交通省)

6 都心部の浸水対策の推進

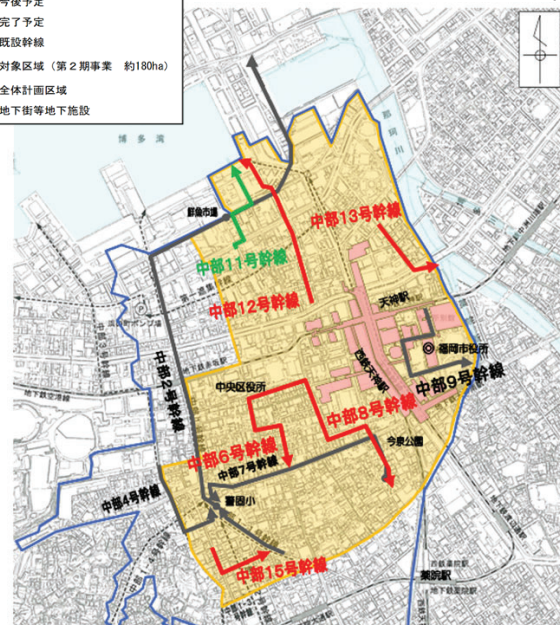
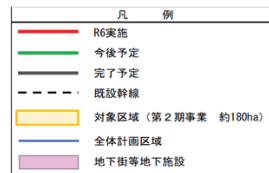


「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業（令和元年度～令和8年度）に基づき、引き続き、浸水対策に取り組みます。

- <令和6年度主な予定箇所>
- 中部13号幹線、中部15号幹線 **(新規)**

予算 27億8,890万円
(下水道企画課)



特色ある事業：生活の質の向上

7 自転車活用の推進



「福岡市自転車活用推進計画」（令和3年度～令和6年度）に基づき、以下の整備を推進します。

自転車通行空間整備の推進

歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備します。

<令和6年度主な予定箇所>

- ・県道都地姪浜線（新規）
- ・主要地方道志賀島和白線（海の中道）（継続）
- ・市道博多姪浜線（昭和通り）（継続）

駐輪場整備の推進

まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場を整備します。

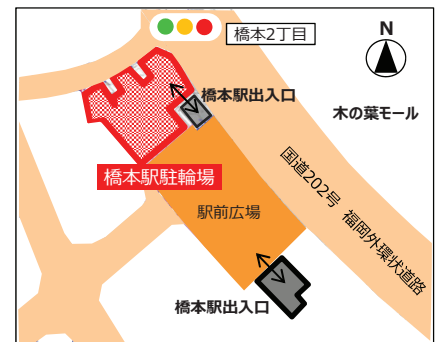
<令和6年度主な予定箇所>

- ・地下鉄七隈線 橋本駅（令和7年春完了予定）
駐輪台数：約900台

予算 4億7,430万円
（自転車課）



予算 2億6,900万円
（自転車課）



8 無電柱化の推進



「福岡市無電柱化推進計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成・観光振興」などの観点から、無電柱化を計画的に推進します。また、低コスト手法を活用するとともに、「ファスト地中化※」の実証実験を行うなど、コスト縮減や事業のスピードアップを図ります。
※災害時の大規模停電につながる道路の縦方向の電線類を、先行して地中化すること

<令和6年度主な予定箇所>

- ・主要地方道志賀島和白線（継続）（P6-4再掲）
- ・市道清水干隈線（継続）
- ・（都）国道3号線（継続）（P5-1再掲）

予算 18億2,352万円
（道路利活用推進課）



9 Fitness Cityプロジェクトの推進



「福岡100」の一環として、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けがあるまちづくり『Fitness Cityプロジェクト』に取り組んでいます。大博通りの西側歩道では、「歩きを促す、歩いて楽しい空間づくり」として、木製デッキやベンチ設置による、木陰を活用した憩い空間整備や、路面標示などによる歩きを促す仕掛けづくりに取り組んでいます。

予算 1億1,100万円
（道路利活用推進課）



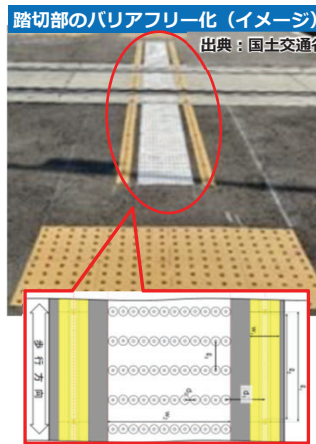
10 道路バリアフリー化の推進



ユニバーサルデザインの理念に基づき、すべての人が安全で快適に移動できるように、歩道のフラット化、視覚障がい者誘導用ブロックの設置などに取り組みます。

また、令和4年4月に奈良県で起きた踏切内での事故を受け、令和6年1月に国から踏切部の視覚障がい者誘導表示の構造等が示されたことから、踏切部のバリアフリー化に取り組みます。**(新規)** さらに、横断歩道部などにおける歩道と車道の段差を解消するため、令和6年度から段差のない縁石の設置に取り組みます。**(新規)**

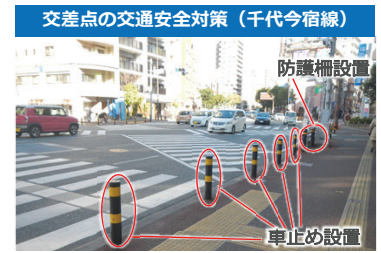
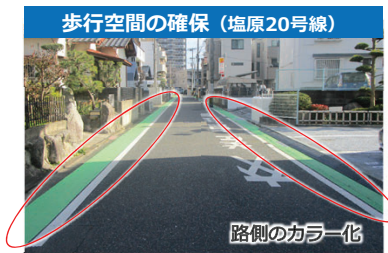
予算 19億4,332万円
(道路計画課・道路利活用推進課)



11 交通安全対策の推進

「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路等の安全対策に取り組みます。また、車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせた、ゾーン30プラスを推進します。

予算 25億 691万円
(道路計画課)



12 交通円滑化に向けた局所的な対策

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良や、既存のバス路線におけるバス停カットの整備に取り組みます。

予算 2億6,900万円
(道路計画課)

<令和6年度主な予定箇所>

- ・ 県道山田中原福岡線 [五十川1丁目交差点] **(新規)**
- ・ 市道舞鶴薬院線 外 [城東橋交差点] (継続)
- ・ 県道後野福岡線 [屋形原1丁目交差点] (継続)
- ・ 県道後野福岡線 [下の原バス停] (継続)



13 防犯灯補助金【拡充】

補助金増額による地域負担軽減

自治会等の地域団体が設置・維持管理する防犯灯の補助事業において、近年、電気料金や機材単価が高騰していることから、防犯灯の工事費補助金および管理費補助金を増額し、地域団体にかかる負担軽減を図ります。

予算 9,443万円
(道路維持課)



特色ある事業：生活の質の向上



14 治水対策の推進

治水対策の根幹である河川改修等の推進

予算 29億8,084万円
(河川計画課)

大雨による河川の氾濫を防止するため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

河川整備

河川改修を進め、河川の氾濫を防止するとともに、親しみのある水辺空間の整備などを行います。

<令和6年度主な予定箇所>

香椎川(継続)、周船寺川(継続)、
金屑川(継続)、弁天川(継続)

治水池整備

豪雨時等に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を軽減します。

<令和6年度主な予定箇所>

源蔵池(継続)、五ヶ村池(継続)

普通河川の洪水浸水想定区域図の作成(継続)

水害リスク情報の周知を図るため、洪水浸水想定区域図を作成します。



15 浸水対策の推進



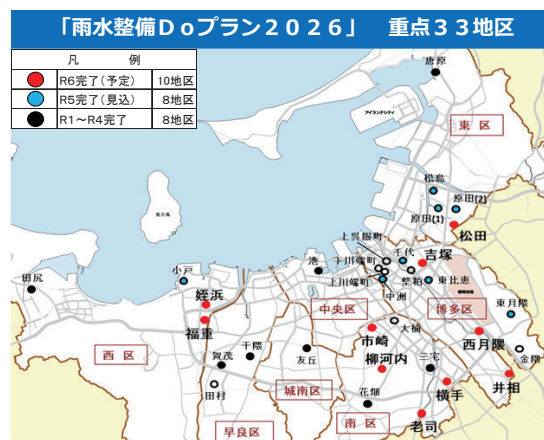
大雨に強い安全・安心なまちづくり

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。

引き続き、「雨水整備Dプラン2026」(令和元年度～令和8年度)の重点地区を優先的に進めるなど、浸水対策に取り組めます。

<令和6年度完了予定地区>

松田、西月隈、井相田、吉塚、横手、
老司、市崎、柳河内、姪浜、福重



予算 27億 130万円
(下水道企画課)

16 アセットマネジメントの推進



道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の多くが、今後、老朽化等による更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となるため、従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

道路のアセットマネジメント

定期点検の結果等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。

対象施設：舗装、橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等

予算 44億1,481万円
(道路維持課)



河川のアセットマネジメント

予算 10億3,523万円
(河川計画課)

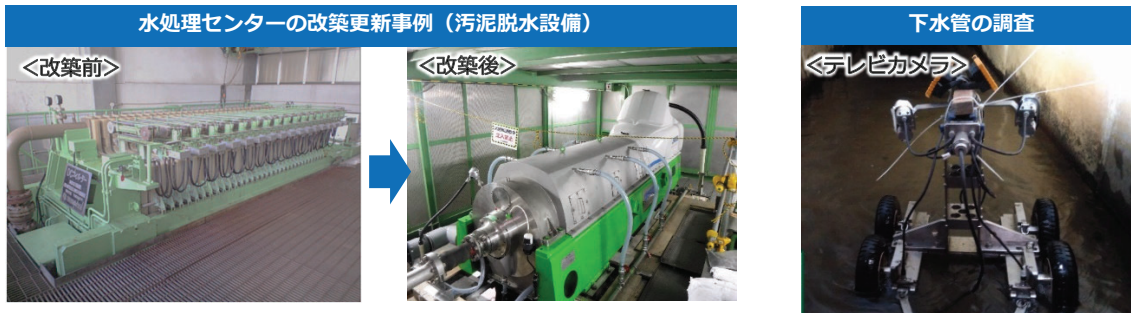
河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の長寿命化を図ります。



下水道のアセットマネジメント

予算 159億5,117万円
(下水道企画課・下水道計画課)

水処理センターやポンプ場の老朽化した設備などについて、予防保全型の改築更新を実施します。
また、下水管の埋設時期、管種及びテレビカメラによる劣化状況調査などにより、改築更新を計画的・効率的に実施します。
特に、都心部は下水道整備時期が早いことから、重点的に取り組みます。



都心部下水道主要施設再構築プラン（新規）

都心部の下水道主要施設は、整備時期が早く老朽化が進んでいるため、ポンプ場の集約化等による一体的な再構築を行い、老朽化対策に加え、下水道施設の強靱化等を図る「都心部下水道主要施設再構築プラン」（令和6年度～令和25年度）に取り組みます。



17 再生可能エネルギーの導入推進【拡充】



下水バイオガス発電設備の導入拡大

予算 2億3,442万円
(施設調整課)

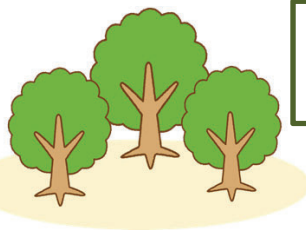
下水の処理過程で発生する下水バイオガスを利用した発電設備の導入拡大に取り組みます。令和6年度は、西部水処理センターへの発電能力150kW規模の導入に着手します。また、和白水処理センターにおいて発電能力100kWの増強工事（増強後200kW）を施工中であり、令和7年2月完成を予定しています。

【導入効果】

発電能力 100kW
⇒約300t / 年のCO₂削減



発電設備



森林 60haの
CO₂吸収量に相当

PayPayドーム
約9個分



PPA方式による太陽光発電設備の導入拡大

予算 一 万円
(施設調整課)

太陽光発電設備の導入拡大を進めるため、初期投資が不要なPPA方式を活用します。令和6年度は、東部水処理センター及び西部水処理センターへの導入を進めます。

下水道施設における再エネ電力への切替

予算 1億5,578 万円
(施設調整課)

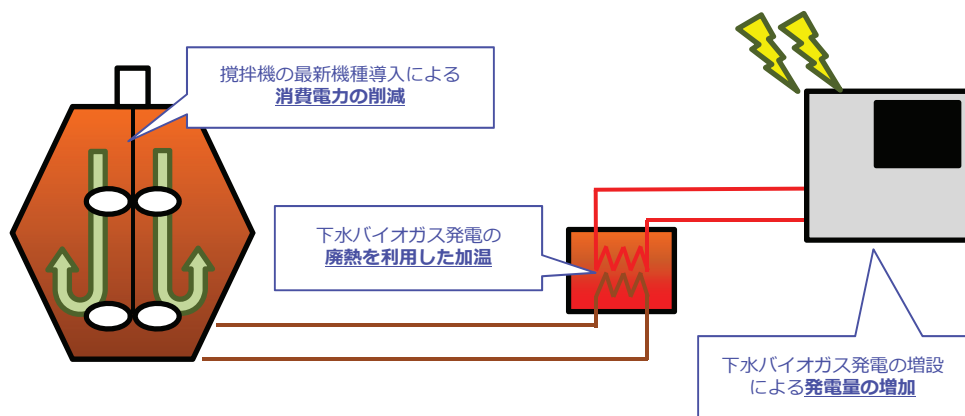
下水道施設で使用する電力を再生可能エネルギー由来電力へ切り替えることで令和12年度CO₂削減目標70%を令和6年度に達成する見込みです。

18 改築更新における省エネ機器の導入



老朽化した設備の改築更新にあわせて、省エネ機器の導入に取り組みます。和白水処理センターの消化槽設備更新においては、消化槽攪拌機の最新機種導入及びバイオガス発電設備の廃熱利用を行うことで、エネルギーの削減と有効活用を図ります。

予算 12億 855万円
(施設整備課)



19 DXの推進



道路関連

■ 駐車場の満空情報システムの開発 (新規)

予算 1,500万円
(駐車場施設課)

駐車場の空き待ちによる渋滞や、空き駐車場を探し回る「うろつき交通」を解消するため、スマートフォン等で駐車場の空き状況などを確認できる満空情報システムを開発します。

■ 車両走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策 (P8-11再掲)

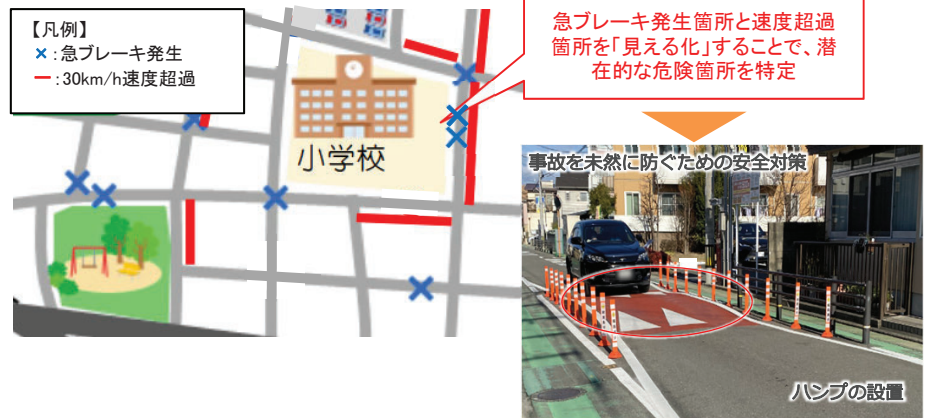
予算 5,200万円
(道路計画課)

ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集された車両走行情報のビッグデータを活用し、速度超過や急ブレーキ箇所を見える化することで、潜在的な危険箇所を特定し、より効果的・効率的な交通安全対策に取り組みます。

令和6年度は、ビッグデータを活用したハンプ等の設置と車両の速度規制を組み合わせたゾーン30プラスを推進します。

<令和6年度主な予定箇所>

- ・東区舞松原地区 (新規)
- ・博多区三筑・諸岡地区 (新規)
- ・中央区高砂地区 (新規)
- ・南区大橋2丁目地区 (継続)
- ・城南区鳥飼地区 (継続)
- ・早良区有田地区 (継続)
- ・西区壱岐南地区 (新規)



下水道関連

■ 受益者負担金賦課図のデジタル化 (新規)

予算 999万円
(下水道料金課)

賦課図について、順次デジタル化を進めホームページ上で公開することにより、電話や来庁することなく賦課情報の確認ができるようになります。

<賦課情報の問い合わせ：年間約2,400件>

土地の動き(売買や開発)がある時などに、土地所有者や開発業者などから問い合わせがあります。

※受益者負担金…下水道の整備にともない処理区域に指定された時に、土地所有者等に対して、整備費用の一部負担を求める制度。負担額は1mあたり250円。



職員が地図で確認し回答



いつでも誰でもホームページで確認可能

※令和6年度は一部の区をデジタル化し、ホームページ上で公開予定。

20 都市インフラプロモーション 【新規】



予算 2,858万円
(総務課・政策調整課)

建設業の魅力発信（イベント等の実施）

道路、河川、下水道などの都市インフラの役割や建設業の魅力を伝えることを目的に、子どもたちを対象とした、見て触れて楽しめる「体験型イベント」を実施します。

【会場/時期】 福岡市役所西側ふれあい広場/令和7年3月（予定）



「体験型イベント」の例

人材獲得（技術職）に視点を置いた広報

技術の世界の紹介や技術職としての将来の人材獲得を目的に、工事現場等を活用した、子ども向けの「お仕事教室」を実施します。

建設業界の働き方改革支援事業

建設業界の生産性向上に向けた取組み等を支援するため、地場建設企業とスタートアップ企業とのマッチングイベント等を実施します。

21 下水道分野における国際貢献の推進

JICA（独立行政法人国際協力機構）事業等を活用し、フィジー等の水環境改善に向けた技術協力により、福岡市のアジア等における知名度、ステイタス、そしてプレゼンスの向上を目指します。



JICAプロジェクト（フィジー）

予算 2,863万円
(政策調整課)

特色ある事業：道路・下水道分野の計画策定

「福岡市基本計画」の策定と連動した、各分野の計画の策定

福岡市道路整備計画（道路計画課）

現計画である「福岡市道路整備アクションプラン2024」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度から令和10年度までの4年間の道路整備の考え方等を整理し、新しい「福岡市道路整備計画」を策定します。

福岡市自転車活用推進計画（自転車課）

現計画である「福岡市自転車活用推進計画」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度以降も計画的に自転車政策を実施していくため、新しい「福岡市自転車活用推進計画」を策定します。

福岡市下水道経営計画（下水道企画課）

現計画である「福岡市下水道経営計画2024」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度以降も計画的な事業実施と更なる経営の安定化を図っていくため、新しい「福岡市下水道経営計画」を策定します。

組織編成案

令和5年度		令和6年度	
道路下水道局	457	道路下水道局	457
(6部 35課 98係 7主査)		(6部 34課 99係 6主査)	
理 事	1	理 事	1
— 総 務 部	<u>39</u>	— 総 務 部	<u>37</u>
— 総 務 課	7	— 総 務 課	7
— 政 策 調 整 課	5	— 政 策 調 整 課	5
— 経 理 課	<u>16</u>	— 経 理 課	<u>14</u>
— 下 水 道 料 金 課	10	— 下 水 道 料 金 課	10
— 管 理 部	<u>65</u>	— 管 理 部	<u>67</u>
— 路 政 課	18	— 路 政 課	18
— 自 転 車 課	10	— 自 転 車 課	10
— 駐 車 場 施 設 課	6	— 駐 車 場 施 設 課	6
— 道 路 維 持 課	13	— 道 路 維 持 課	13
— 下 水 道 管 理 課	<u>17</u>	— 下 水 道 管 理 課	<u>19</u>
— 計 画 部	<u>54</u>	— 計 画 部	<u>54</u>
— 道 路 利 活 用 推 進 課	9	— 道 路 利 活 用 推 進 課	9
— 道 路 計 画 課	12	— 道 路 計 画 課	12
— 高 速 道 路 推 進 課	7	— 高 速 道 路 推 進 課	7
— 下 水 道 企 画 課	10	— 下 水 道 企 画 課	10
— 下 水 道 計 画 課	8	— 下 水 道 計 画 課	8
— 河 川 計 画 課	7	— 河 川 計 画 課	7
— 建 設 部	<u>130</u>	— 建 設 部	<u>130</u>
— 建 設 推 進 課	10	— 建 設 推 進 課	10
— 東 部 道 路 課	<u>17</u>	— 東 部 道 路 課	<u>22</u>
— 西 部 道 路 課	18	— 西 部 道 路 課	18
— 雑 立 餉 体 限 交 連 差 統 課	5	× 雑 立 餉 体 限 交 連 差 統 課	
— 東 部 下 水 道 課	20	— 東 部 下 水 道 課	20
— 中 部 下 水 道 課	22	— 中 部 下 水 道 課	22
— 西 部 下 水 道 課	19	— 西 部 下 水 道 課	19
— 河 川 課	18	— 河 川 課	18
— 下 水 道 施 設 部	<u>111</u>	— 下 水 道 施 設 部	<u>111</u>
— 施 設 調 整 課	14	— 施 設 調 整 課	14
— 施 設 整 備 課	21	— 施 設 整 備 課	21
— 水 質 管 理 課	15	— 水 質 管 理 課	15
— 東 部 水 処 理 セ ン タ -	15	— 東 部 水 処 理 セ ン タ -	15
— 中 部 水 処 理 セ ン タ -	17	— 中 部 水 処 理 セ ン タ -	17
— 西 部 水 処 理 セ ン タ -	17	— 西 部 水 処 理 セ ン タ -	17
— 和 白 水 処 理 セ ン タ -	11	— 和 白 水 処 理 セ ン タ -	11
— 用 地 部	<u>56</u>	— 用 地 部	<u>56</u>
— 用 地 調 整 課	11	— 用 地 調 整 課	11
— 公 共 施 設 用 地 課 (用 地 調 整 課 長 が 兼 務)	2	— 公 共 施 設 用 地 課 (用 地 調 整 課 長 が 兼 務)	2
— 東 部 用 地 課	14	— 東 部 用 地 課	14
— 中 部 用 地 課	14	— 中 部 用 地 課	14
— 西 部 用 地 課	14	— 西 部 用 地 課	14

令和6年度 主な新規着手・整備完了予定箇所





主な新規着手予定箇所

【道路】

区	路線名等	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	延長 (m)	番号	備考
東	舞松原地区	舞松原2丁目	-	-	-	1	ゾーン30プラス
	青葉地区	青葉3丁目	-	-	-	2	ゾーン30プラス
	(市)箱崎146号線	箱崎6丁目	14	14	900	3	無電柱化
	(県)浜新建壑柏線	箱崎3丁目	25	25	200	4	再整備
博多	三筑・諸岡地区	三筑2丁目	-	-	-	5	ゾーン30プラス
中央	高砂地区	高砂2丁目	-	-	-	6	ゾーン30プラス
南	五十川1丁目交差点	五十川1丁目	6.7	-	-	7	交差点改良
早良	野芥口交差点	野芥1丁目	16	17	265	8	交差点改良
西	(県)都地姪浜線	内浜1丁目	25	25	610	9	自転車通行空間
	(県)都地姪浜線	橋本2丁目	30	30	40	10	交差点改良
	吉岐南地区	戸切2丁目	-	-	-	11	ゾーン30プラス

【下水道】

区	路線名等	概要	番号	備考
博多	月隈第8雨水幹線	□1,000mm×1,000mm L=230m	12	地震対策
中央	中部13号幹線	○1,100mm L=338m	13	浸水対策
	中部15号幹線	○1,200mm L=326m	14	浸水対策
早良	西田隈第3雨水幹線	○1,800mm L=840m	15	浸水対策
西	西部水処理センター	下水バイオガス 発電設備新設	16	再エネ施設整備

主な整備完了予定箇所

【道路】

区	路線名等	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	供用延長 (m)	番号	備考
博多	(市)博多駅前草ヶ江線 (住吉通り)	博多駅前4丁目 ~ 住吉3丁目	36	36	560	1	自転車通行空間 (整備延長は1,120m)
	(市)竹下2118号線	美野島4丁目	6.4	8	80	2	踏切拡幅
	(主)福岡空港線	西月隈3丁目	22	22	217	3	無電柱化
	(都)国道3号線 (板付)	西月隈5丁目 ~ 板付6丁目	21.3	25	206	4	拡幅整備
	(都)西鉄天神大牟田線 側道20号線	春町1丁目	6	7	80	5	拡幅整備
中央	平尾・薬院地区	平尾4丁目外	-	-	-	6	ゾーン30プラス
城南	鳥飼地区	鳥飼6丁目	-	-	-	7	ゾーン30プラス
西	(都)戸切通線	橋本2丁目 ~ 戸切2丁目	-	17	57	8	道路新設
	(都)橋本戸切線	戸切2丁目	-	17~21	341	9	道路新設
	(市)草場線	大字草場	3	7	570	10	拡幅整備

区	路線名等	概要	番号	備考
西	橋本駅駐輪場	駐輪台数 約900台	11	新規整備 R7春完了予定

主な整備完了予定箇所

【下水道】

区	路線名等	区間	番号	備考
東	和白水処理センター	下水バイオガス 発電設備増設	12	再エネ施設整備
南	塩原老司雨水幹線	□4,000mm×2,800mm L=70m	13	地震対策